

Chiba Weekly Report

2022

— 第 1 週 —

2022/1/3～2022/1/9

千葉県結核・感染症週報

千葉県感染症天気図 2

今週の注目疾患 3-4

E 型肝炎

全数報告疾患集計表 5

定点報告（五類感染症）

疾病別グラフ 6-10

〈男女合計〉

RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎・
クラミジア肺炎・細菌性髄膜炎・マイコプラズマ肺炎・無菌性髄膜炎・
感染性胃腸炎（ロタウイルス）

疾患別・保健所別・年齢階級別集計表 11-14

〈男女合計〉

RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎

千葉県健康福祉部 千葉県衛生研究所 千葉県医師会

（千葉県感染症情報センター）

定点把握対象の五類感染症

千葉県感染症天気図 2022年 第1週

定点当たり報告数＝報告数/定点医療機関数

上段は定点当たり報告数

下段は報告数

定点	疾 病 名	流行状況	コ メ ン ト	1週	52週	51週	50週	49週
小児科	小児科定点医療機関数			123	123	130	129	130
	RSウイルス感染症			0.00 0	0.07 8	0.02 2	0.03 4	0.03 4
	咽頭結膜熱			0.15 19	0.08 10	0.18 24	0.14 18	0.18 23
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎		松戸(2.1)	0.47 58	0.25 31	0.67 87	0.53 68	0.54 70
	感染性胃腸炎		海匝(7.3)、船橋市(6.8)、 印旛(5.8)	4.03 496	2.80 345	6.40 832	5.95 768	5.94 772
	水痘			0.16 20	0.04 5	0.11 14	0.28 36	0.15 19
	手足口病			0.15 18	0.13 16	0.21 27	0.33 43	0.35 45
	伝染性紅斑			0.01 1	0.00 0	0.02 2	0.02 3	0.02 2
	突発性発しん			0.25 31	0.11 14	0.29 38	0.29 38	0.35 46
	ヘルパンギーナ			0.01 1	0.01 1	0.05 6	0.05 7	0.07 9
	流行性耳下腺炎			0.01 1	0.01 1	0.04 5	0.05 6	0.05 6
インフル エンザ	インフルエンザ定点医療機関数			198	194	206	208	208
	インフルエンザ			0.01 2	0.02 4	0.01 2	0.00 0	0.00 0
眼科	眼科定点医療機関数			31	30	33	33	33
	急性出血性結膜炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	流行性角結膜炎			0.16 5	0.13 4	0.18 6	0.15 5	0.09 3
基幹 病院	基幹定点医療機関数			8	9	9	9	9
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	細菌性髄膜炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	マイコプラズマ肺炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	無菌性髄膜炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.11 1
全 数	風しん			0	0	0	0	0
	麻疹			0	0	0	0	0

備考

増加
 やや増加
 変化なし
 やや減少
 減少

※診断日を基準とします。報告の追加、取り下げ等により、数値は今後変動することがあります。

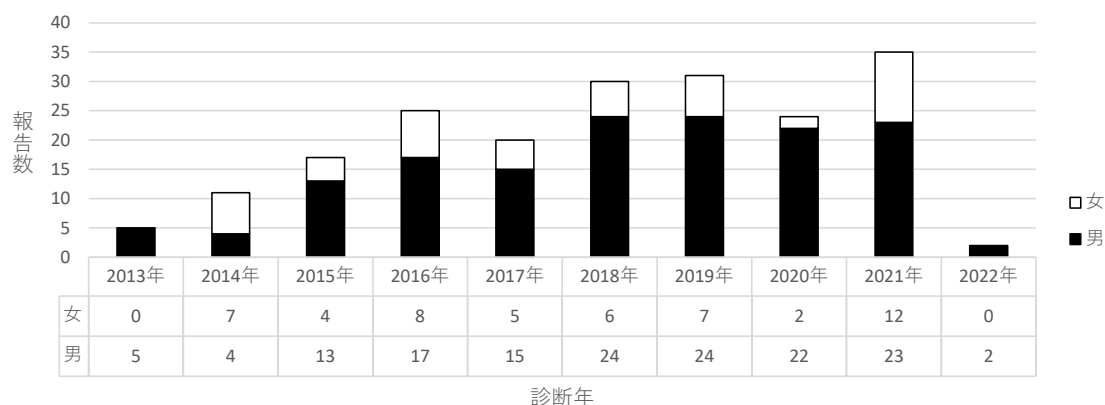
【今週の注目疾患】

《E型肝炎》

2022年第1週に市原、千葉市保健所管内から1例ずつE型肝炎の報告があった。2例ともに男性であり、30代が1例と50代が1例であった。感染原因・感染地域は不明である。

2013年から2022年第1週までのE型肝炎報告数は200例である。2013年では年間累計5例であったが、2021年は年間累計35例と増加傾向にある(図)。200例のうち男性が149例(74.5%)、女性が51例(25.5%)と男性が多い。年代別では、50代~70代が多く、143例(72%)と全体の7割以上を占めており、男性、女性ともに50代が最も多かった。

図：2012年～2022年第1週までの県内E型肝炎報告数（n=200）



2017年から2021年までの過去5年間に県内で報告されたE型肝炎症例140例のうち、推定感染地域別では国内が103例(74%)、海外渡航歴(インド、中国、韓国)があり、国外での感染が推定されたのは5例(4%)で、国内での感染推定例が多かった。推定感染原因別では不明が96例(68%)で最も多く、次いで豚肉、ジビエ(馬・鹿・猪などの野生鳥獣肉)、レバー等の食肉喫食歴がある者が37例(26%)報告された(表)。また、その他とされた者も3例(2%)見られたが、それぞれ海鮮物の喫食歴ありが1例、豚舎で豚との接触歴ありが1例、登山時の湧水の飲水歴ありが1例であった。また、これら141例のうち病原体検査によってE型肝炎ウイルスの遺伝子型が判明した症例はNESIDの登録情報では5例(3.5%)にとどまっており、2019年に遺伝子型G3が1例、G4が1例、2021年にG3が3例確認されている。そのうち遺伝子型G4の患者はインドへの渡航歴があった。

表:2017年～2021年に報告された県内E型肝炎症例の推定感染原因（n=140）

	2017年	%	2018年	%	2019年	%	2020年	%	2021年	%	合計(5year)	%
食肉喫食(豚肉)	1	5%	2	7%	2	6%	2	8%	6	17%	13	9%
食肉喫食(レバー)*1		0%	2	7%		0%		0%	4	11%	6	4%
食肉喫食(ジビエ)*2	3	15%	3	10%	2	6%		0%	2	6%	10	7%
食肉喫食(その他)	1	5%	4	13%	2	6%	1	4%		0%	8	6%
海外流行地渡航	1	5%		0%	4	13%		0%		0%	5	4%
その他		0%		0%	1	3%		0%	2	6%	3	2%
不明	14	70%	19	63%	20	65%	21	88%	22	61%	96	68%
合計	20		30		31		24		36*3		141*3	

*1 肉種類に限らずレバーと記載があった者

*2 馬、鹿、猪等の肉の喫食歴ありの者

*3 複数該当者1例含む

E 型肝炎は、ヘペウイルス科（*Hepeviridae*）の E 型肝炎ウイルス（hepatitis E virus: HEV）の感染によって引き起こされる急性肝炎である。潜伏期間は 15～60 日と長い。発熱、全身倦怠感、悪心、嘔吐、食欲不振、腹痛等の症状を伴い、黄疸が認められるが、不顕性感染も多い。従来は慢性化しないと考えられていたが、臓器移植患者など免疫抑制状態にある患者の HEV 感染が慢性的な感染を引き起こすことがある。感染経路は、いわゆる途上国や衛生状況の悪い難民キャンプ等では患者の糞便中に排泄されたウイルスによる経口感染が主で、大規模な集団発生が報告されている。一方、日本をはじめ世界各地で、E 型肝炎は人獣共通感染症として注目されている¹⁾。

ヒトに感染する HEV は、ヘペウイルス科 *Orthohepevirus* 属の 4 つの種のうち *Orthohepevirus A* に属する。*Orthohepevirus A* はさらに 8 種の遺伝子型（G1-G8）、36 種のサブタイプに分類されている。ヒトに感染する HEV は主に G1-G4 の 4 つの遺伝子型で、途上国で比較的大きな地域流行を起こすウイルスは主に G1 である。先進国では主に G3 による E 型肝炎が散発的に報告されている。G3 および G4 は、ブタやイノシシに感染するため、加熱不十分なこれらの動物の内臓肉等の喫食が、国内の主な感染要因と考えられている¹⁾。

E 型肝炎の流行状況を調査するため、厚生労働省は「E 型肝炎発生時の検体の確保等について」を発出し、各自治体に患者検体の確保、もしくはウイルス解析情報の提出を依頼している²⁾。E 型肝炎は一般的に潜伏期間が長く、聞き取りによる感染源・感染経路の調査が困難である場合が多いため、事例発生時には糞便や原因と疑われる食品等の検体を確保し、分子疫学的手法を用いた解析を実施することで、集団発生の動向確認の一助とすることが可能である。過去に国内においても病原体検査によって食品の摂食と E 型肝炎の発症との直接的な関係が確認された事例の報告がある³⁾。

HEV の感染経路は経口感染であり、ウイルスに汚染された食物、水の摂取により感染することが多い。現時点で認可されているワクチンはないため、予防には手洗い、飲食物の十分な加熱が重要となる。また、清潔の保証がない飲料水（氷入り清涼飲料を含む）、貝類、果物、野菜をとらないように注意する必要がある。

食肉類、特に動物の内臓や豚レバーを食べる際には、中心部まで火が通るよう十分に加熱することが重要である。食べる前の調理の段階でも、皮膚の傷からウイルスが体内へ入ることのないよう注意を要する³⁾。

■参考

1) 国立感染症研究所：IASR Vol. 42 p271-272: 2021 年 12 月号

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/hepatitis-e-m/hepatitis-e-iasrtpc/10837-502t.html>

2) 2016（平成 28）年 8 月 16 日 健感発 0816 第 3 号 生食監発 0816 第 2 号

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzendu/0000139294.pdf>

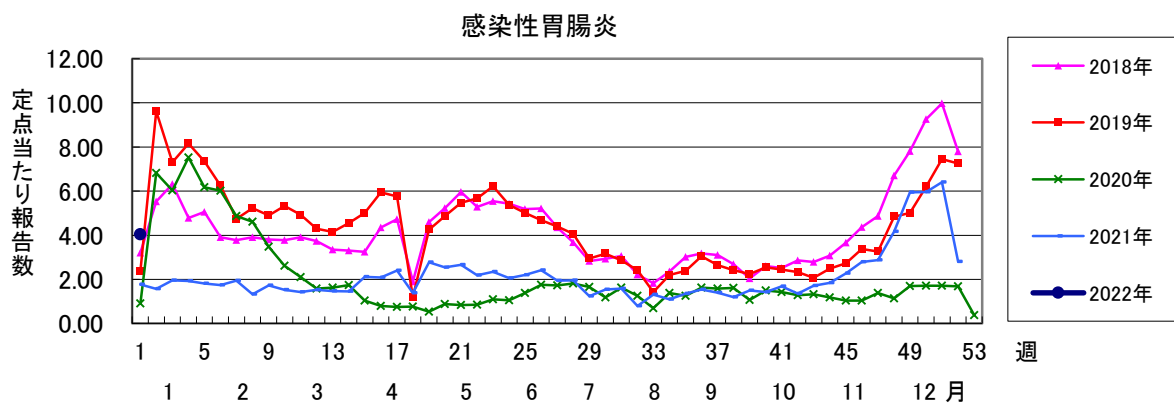
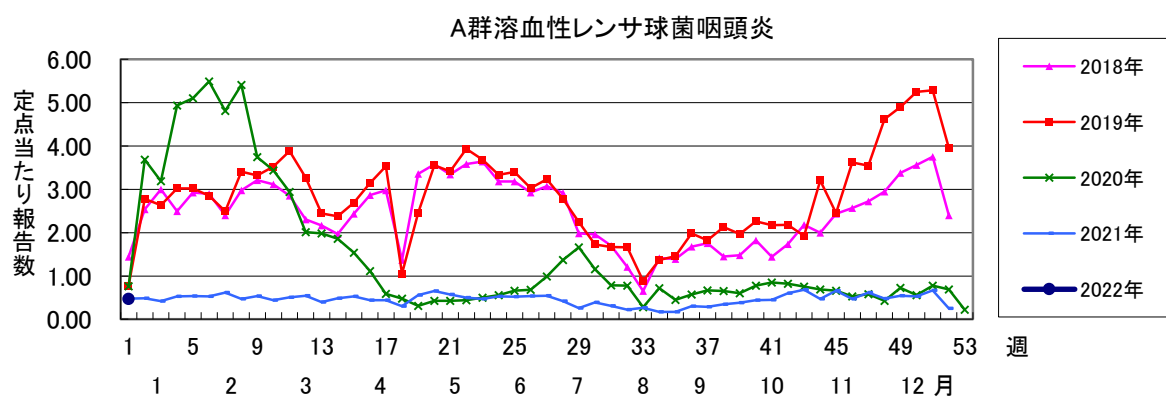
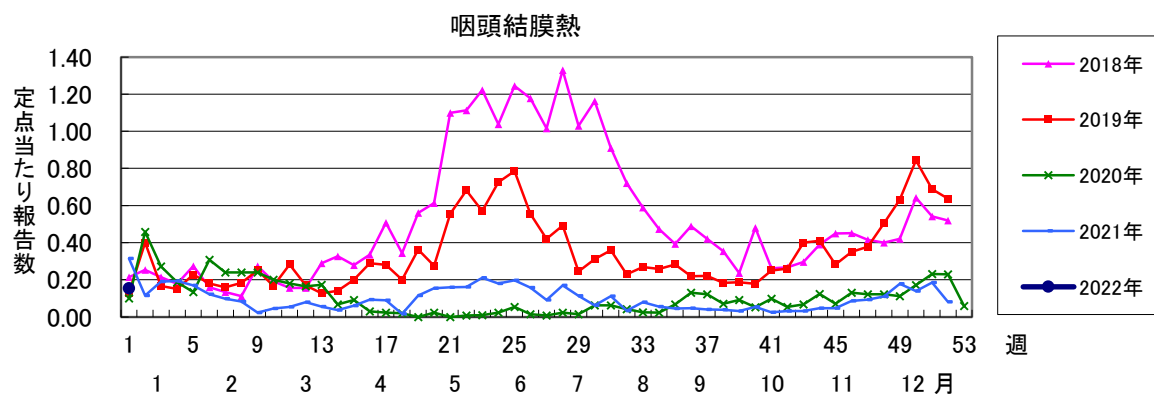
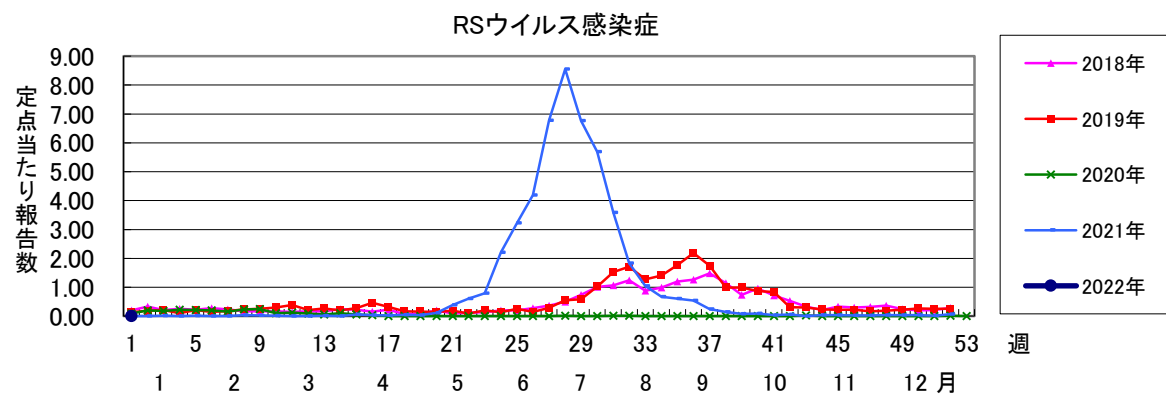
3) E 型肝炎ウイルスの感染事例・E 型肝炎 Q & A

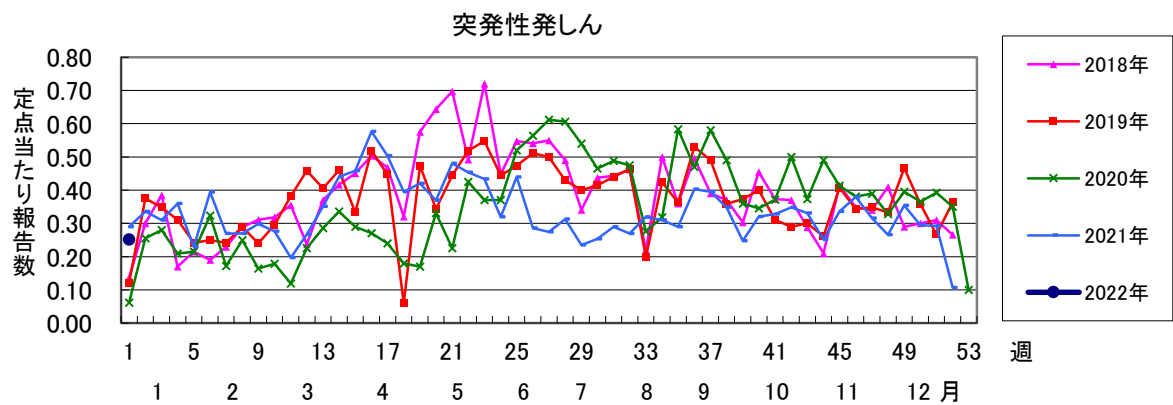
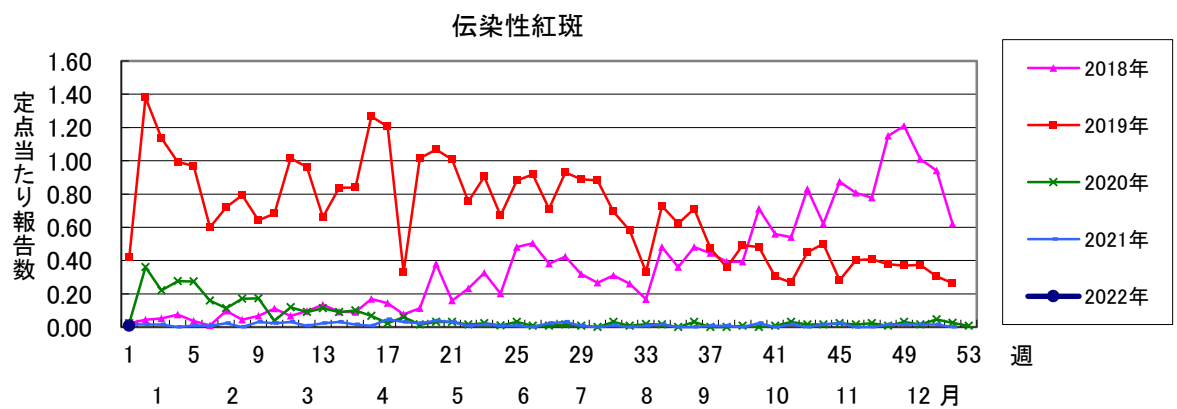
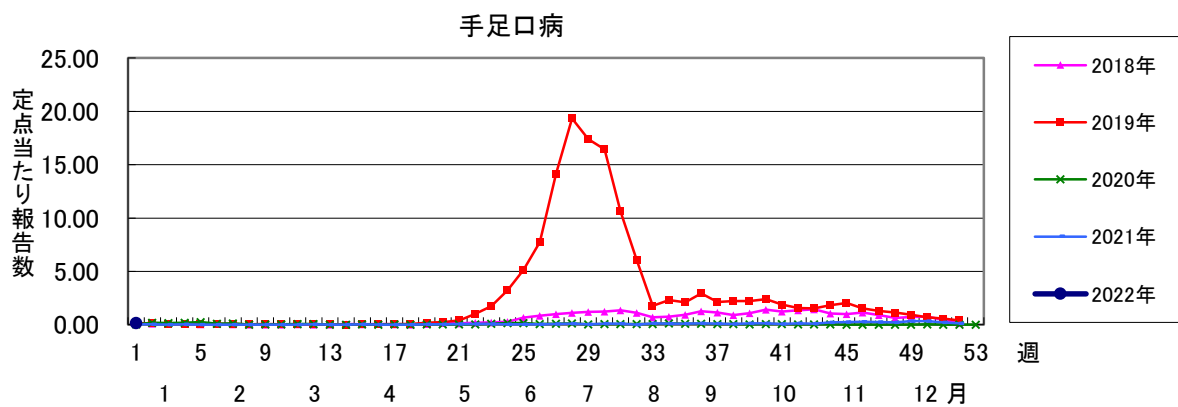
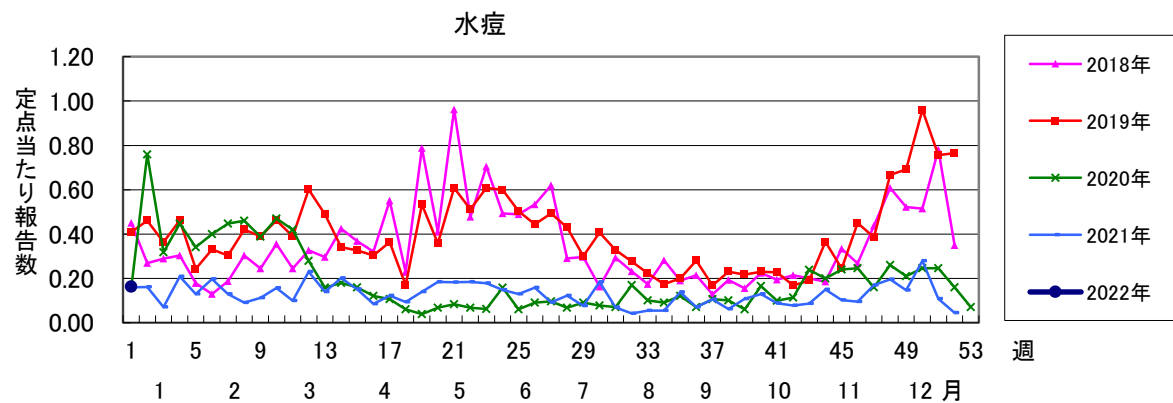
<https://www.mhlw.go.jp/houdou/2003/08/h0819-2a.html>

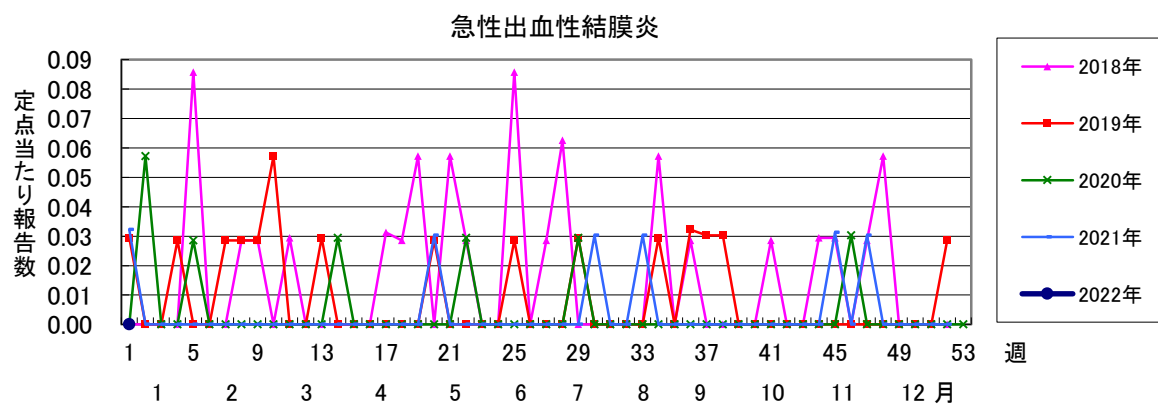
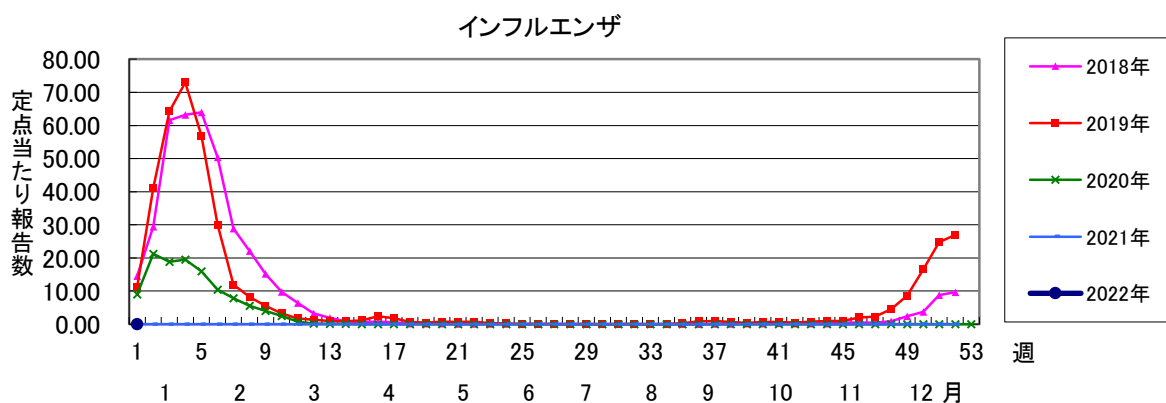
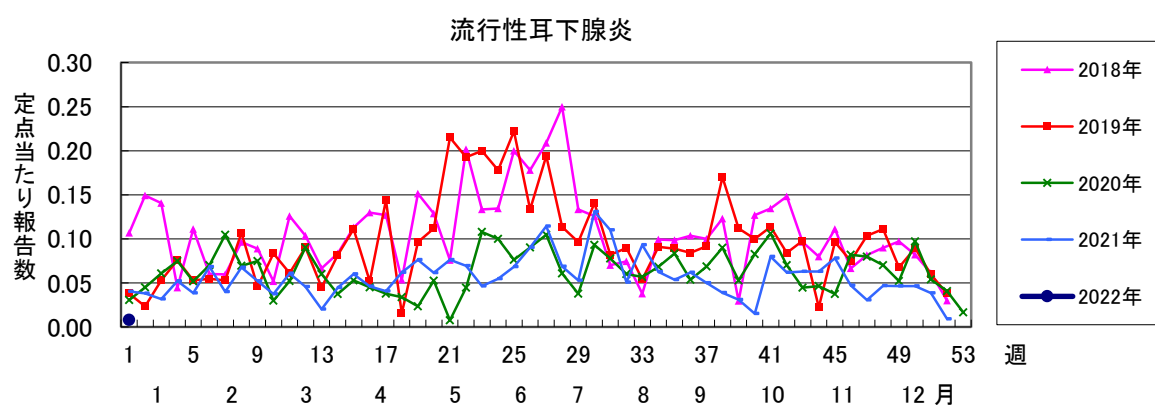
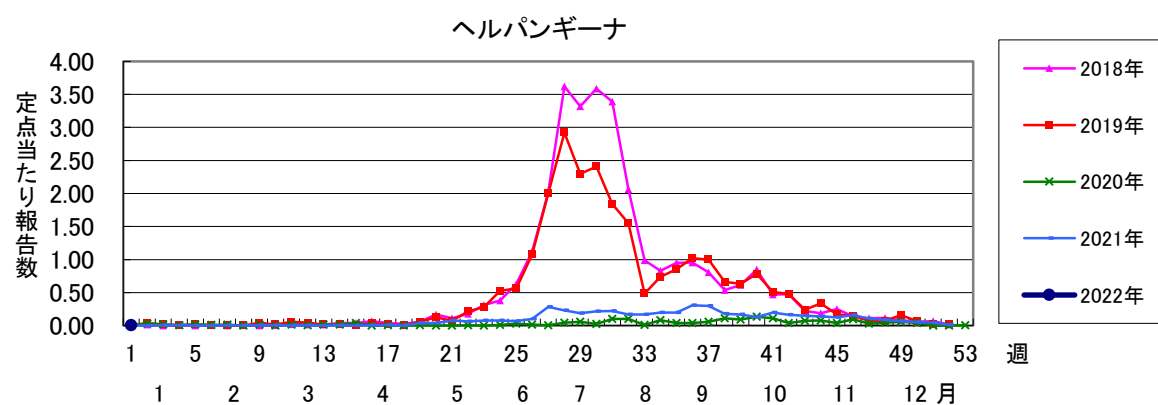
第1週全数報告疾患集計表

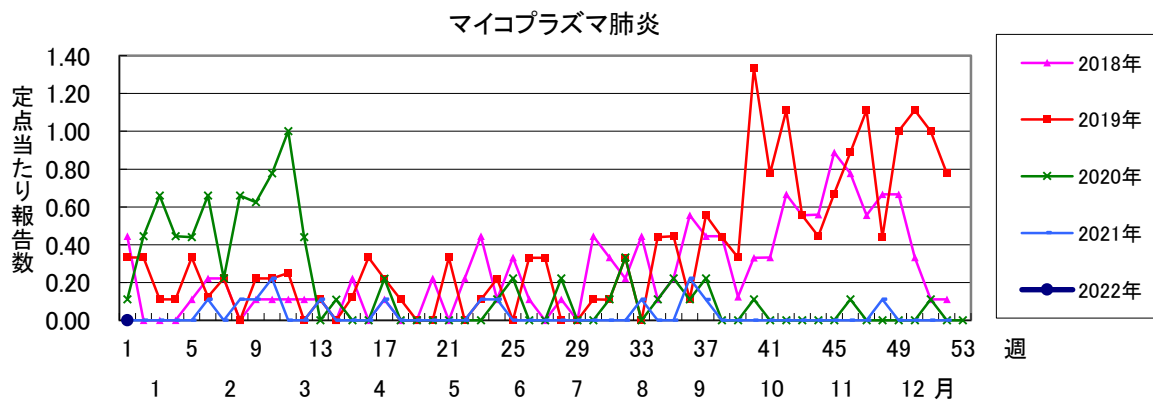
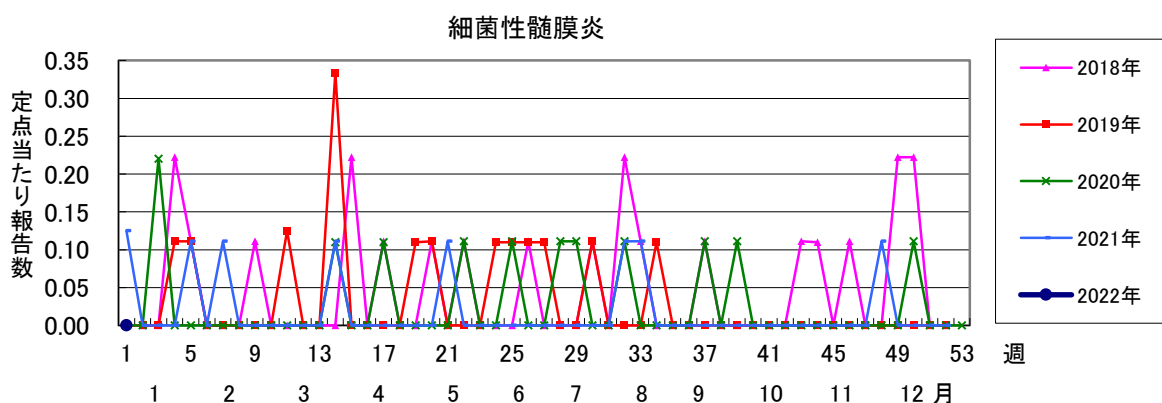
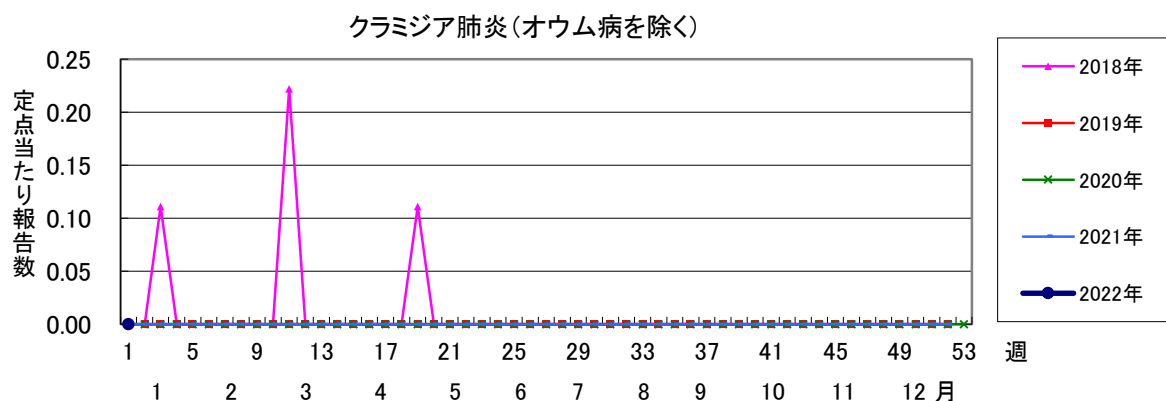
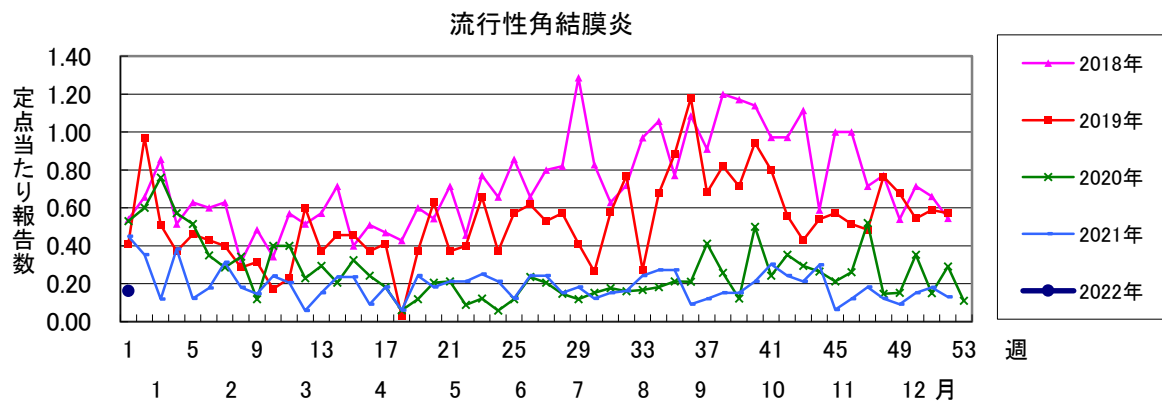
一類感染症	今週	累計(年)	四類感染症(その2)	今週	累計(年)
エボラ出血熱	0	0	日本紅斑熱	0	0
クリミア・コンゴ出血熱	0	0	日本脳炎	0	0
痘そう	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0
南米出血熱	0	0	Bウイルス病	0	0
ベスト	0	0	鼻疽	0	0
マールブルグ病	0	0	ブルセラ症	0	0
ラッサ熱	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0
			ヘンドラウイルス感染症	0	0
			発しんチフス	0	0
			ボツリヌス症	0	0
			マラリア	0	0
			野兔病	0	0
			ライム病	0	0
			リッサウイルス感染症	0	0
			リフトバレー熱	0	0
			類鼻疽	0	0
			レジオネラ症	2	2
			レプトスピラ症	0	0
			ロッキー山紅斑熱	0	0
二類感染症	今週	累計(年)	五類感染症(全数)	今週	累計(年)
急性灰白髄炎	0	0	アメーバ赤痢	0	0
結核	7	7	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	0
ジフテリア	0	0	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0
重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	急性弛緩性麻痺	0	0
中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	0	0
鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	クリプトスポリジウム症	0	0
鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0
			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0
			後天性免疫不全症候群	0	0
			ジアルジア症	0	0
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0
			侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0
			侵襲性肺炎球菌感染症	0	0
			水痘(入院例)	0	0
			先天性風しん症候群	0	0
			梅毒	3	3
			播種性クリプトコックス症	0	0
			破傷風	0	0
			バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0
			バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0
			百日咳	0	0
			風しん	0	0
			麻しん	0	0
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0
三類感染症	今週	累計(年)	新型インフルエンザ等感染症(その2)	今週	累計(年)
コレラ	0	0	新型インフルエンザ	0	0
細菌性赤痢	0	0	再興型インフルエンザ	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	0	0			
腸チフス	0	0			
パラチフス	0	0			
四類感染症(その1)	今週	累計(年)			
E型肝炎	2	2			
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	0	0			
A型肝炎	0	0			
エキノコックス症	0	0			
黄熱	0	0			
オウム病	0	0			
オムスク出血熱	0	0			
回帰熱	0	0			
キャサヌル森林病	0	0			
Q熱	0	0			
狂犬病	0	0			
コクシジオイデス症	0	0			
サル痘	0	0			
ジカウイルス感染症	0	0			
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	0	0			
腎症候性出血熱	0	0			
西部ウマ脳炎	0	0			
ダニ媒介脳炎	0	0			
炭疽	0	0			
チクングニア熱	0	0			
つつが虫病	1	1			
デング熱	0	0			
東部ウマ脳炎	0	0			
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0			
ニパウイルス感染症	0	0			
新型インフルエンザ等感染症(その1)	累計				
新型コロナウイルス感染症*	102,128				

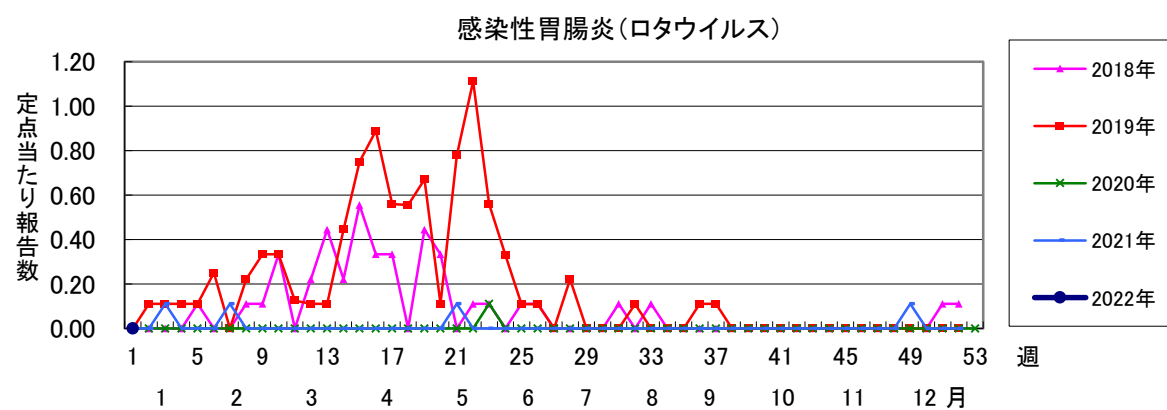
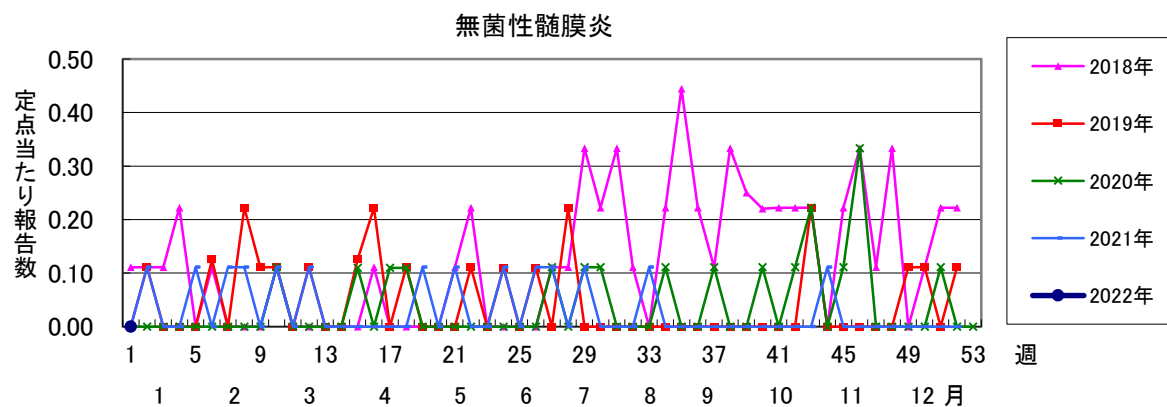
* 千葉県報道発表による(1月11日15時現在)











2022年 第1週		保健所別、年齢群別報告数(男女合計)															No.1
		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	合
		田	市	戸	川	橋	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	計
小児科定点数		4	9	15	10	10	10	14	16	3	3	6	4	3	4	5	123
RSウイルス感染症	～5ヶ月 ～11ヶ月																
	1歳																
	2歳																
	3歳																
	4歳																
	5歳																
	6歳																
	7歳																
	8歳																
	9歳																
	10～14歳																
	15～19歳																
	20歳以上																
	合計																
咽頭結膜熱	～5ヶ月 ～11ヶ月																
	1歳		3	1	1	3					1						9
	2歳				1	1	1										3
	3歳		2														2
	4歳						1										1
	5歳																
	6歳																
	7歳																
	8歳																
	9歳																
	10～14歳			1													1
	15～19歳			1													1
	20歳以上		1	1													2
	合計		6	4	2	4	2				1						19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	～5ヶ月 ～11ヶ月			3													3
	1歳			2													2
	2歳			2	1			3			1						7
	3歳			4		1		1									6
	4歳			3				1									4
	5歳			1				1	1								3
	6歳			4													4
	7歳			3	1			2								1	7
	8歳			1			1										2
	9歳			3													3
	10～14歳				5	4		3									12
	15～19歳																
	20歳以上			1	1			1					1	1			5
	合計			32	3	5	1	8	5		1		1	1		1	58
感染性胃腸炎	～5ヶ月 ～11ヶ月	1	1	3		1	1	8	8		4	3	1			1	2
	1歳	3	10	10	10	11	4	14	21	1	4				2	2	8
	2歳	1	7	10	7	10	4	7	11		1	3	1		1	7	36
	3歳		6	12	1	10	4	9	12	1	2	3	1		2	6	70
	4歳		4	2	1	5	2	5	6		1	1	2			3	69
	5歳		1	1	1	10	1	4	7	2	3	1				1	32
	6歳		1		1	2	2	4	1		2	1	1				15
	7歳	1	2	2		3		2	3	1		1	1			1	17
	8歳	2		1		2	2	1	2				1				11
	9歳		2	2	1	2			2	1						3	13
	10～14歳	1	4	5	2	3		5	5	2	5	2	1				35
	15～19歳		3	1		3			1			3				1	12
	20歳以上	2	11	1	5	6	1	1	10	4		5	2	1		1	54
	合計	11	52	50	29	68	21	62	93	12	22	23	11	1		7	496

2022年 第1週		保健所別、年齢群別報告数(男女合計)															No.2	
		野 田	柏 市	松 戸	市 川	船 橋 市	習 志 野	千 葉 市	印 旛	香 取	海 匝	山 武	長 生	夷 隅	安 房	君 津	市 原	合 計
小児科定点数		4	9	15	10	10	10	14	16	3	3	6	4	3	4	5	7	123
水痘	～5ヶ月 ～11ヶ月																1	1
	1歳						4											4
	2歳						1											1
	3歳						1											1
	4歳																1	1
	5歳				1								1					2
	6歳								1									1
	7歳					1												1
	8歳																	
	9歳								2	1								3
	10～14歳	1											1				1	3
	15～19歳																	
	20歳以上						2											2
合計		1			1	1	8		2	2			2				3	20
手足口病	～5ヶ月 ～11ヶ月							1										1
	1歳			1	3	2		3										9
	2歳					1		2										3
	3歳				1											1		2
	4歳					1												1
	5歳															1		1
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
	10～14歳							1										1
	15～19歳																	
	20歳以上																	
合計			1	4	4			7								2		18
伝染性紅斑	～5ヶ月 ～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
	10～14歳																	
	15～19歳																	
	20歳以上			1														1
合計				1														1
突発性発しん	～5ヶ月 ～11ヶ月		1		1	1		1			1							5
	1歳		3	2		2	2		3		1					2		15
	2歳			1				3	2									6
	3歳			1		1		1	1									4
	4歳		1															1
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
	9歳																	
	10～14歳																	
	15～19歳																	
	20歳以上																	
合計			5	4	1	4	2	5	6		2					2		31

2022年 第1週		保健所別、年齢群別報告数(男女合計)															No.3		
		野 田	柏 市	松 戸	市 川	船 橋 市	習 志 野	千 葉 市	印 旛	香 取	海 匝	山 武	長 生	夷 隅	安 房	君 津	市 原	合 計	
小児科定点数		4	9	15	10	10	10	14	16	3	3	6	4	3	4	5	7	123	
ヘルパンギーナ	～5ヶ月 ～11ヶ月																		
	1歳																		
	2歳	1																1	
	3歳																		
	4歳																		
	5歳																		
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
10～14歳																			
15～19歳																			
20歳以上																			
合計		1																1	
流行性耳下腺炎	～5ヶ月 ～11ヶ月																		
	1歳																		
	2歳																		
	3歳																		
	4歳	1																1	
	5歳																		
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
	10～14歳																		
	15～19歳																		
	20歳以上																		
合計		1																1	

2022年 第1週		保健所別、年齢群別報告数(男女合計)															No.4		
		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合	
		田	市	戸	川	橋	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計	
インフル定点数		7	14	24	14	16	16	23	24	6	6	9	7	5	7	9	11	198	
インフル エンザ	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																		
	2歳 3歳 4歳																		
	5歳 6歳 7歳																		
	8歳 9歳 10～14歳																		
	15～19歳 20～29歳 30～39歳	1																1	
	40～49歳 50～59歳 60～69歳																		
	70～79歳 80歳以上	1																1	
	合計	1																2	
	眼科 定点数		1	2	4	1	3	2	5	4	1	1	1	1		1	2	2	31
	急性出 血性 結膜 炎	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																	
		2歳 3歳 4歳																	
5歳 6歳 7歳																			
8歳 9歳 10～14歳																			
15～19歳 20～29歳 30～39歳																			
40～49歳 50～59歳 60～69歳																			
70歳以上																			
合計																			
流行性 角結 膜炎		～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																	
		2歳 3歳 4歳																	
		5歳 6歳 7歳	1																1
	8歳 9歳 10～14歳																		
	15～19歳 20～29歳 30～39歳	1																1	
	40～49歳 50～59歳 60～69歳	1																1	
	70歳以上	1																1	
	合計	1																5	

※ 千葉県の感染症情報は、千葉県感染症情報センターのホームページを御覧ください。

URL. <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>

※ 全国の感染症情報(IDWR)は、国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページを御覧ください。

URL. <https://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

千葉県結核・感染症週報 2022 年 第 1 週

発 行 千葉県衛生研究所
千葉県健康福祉部
千葉県医師会
事務局 千葉県衛生研究所感染疫学研究室内
千葉県感染症情報センター
〒260-8715 千葉市中央区仁戸名町 666-2
TEL. 043(266)6723 FAX. 043(265)5544

本週報は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づくものであり、千葉県内の医療従事者、定点医療機関、県及び千葉市保健所の皆様の御協力を得て、千葉県衛生研究所感染疫学研究室内の千葉県感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査などの結果に応じて、若干の変更が生ずることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。